



★★★★★★★★★★★★★★
小中学生版

Vol.14

★★★★★★★★★★★★★★
発行所 〒329-0101
栃木県下都賀郡野木町大字友沼5840-7
野木町社会福祉協議会
(この新聞は共同募金配分金事業で発行されています)
平成31年2月21日発行

かんが ぬくしきょういく
みんなで考える福祉教育
ちいきぬくししんぶん
地域福祉新聞

～もくじ～

- 友沼小学校 P2
- 野木小学校 P3
- 佐川野小学校 P4
- 南赤塚小学校 P5
- 新橋小学校 P6
- 野木中学校 P7
- 野木第二中学校 P8
- 協力ボランティア P9
- 夏の思い出 P10

まちがっこうとも
みんなの町・学校・お友達を
ぬくしきょういく
福祉の恋かうのぞいてみよう！



野木町社会福祉協議会では、町内の小・中学校7校を「学童・生徒のボランティア活動普及事業」協力校に指定し、各校の福祉教育担当の先生方と社会福祉協議会、ボランティアの方々と交えて年3回連絡会議を開催しています。連絡会議では、各校における福祉教育の計画や社会福祉協議会が行う福祉教育事業、地域福祉新聞の記事・校正など意見交換を行っています。

ここでは、平成30年度に行われた各校の事業、福祉教育に関わるボランティアの方々、社会福祉協議会で開催した事業の様子を掲載いたしました。

友沼 小学校

友沼小学校では、4年生が「総合的な学習の時間」に福祉の学習をしています。ハンディキャップ体験では、「アイマスク体験」「車いす体験」「高齢者疑似体験」を実施し、ハンディキャップのある方がおかれている状況や、障がいに対する理解を深めることを目標に活動しました。チャレンジフェスティバルでは、耳が不自由な方からお話を聞いたり、手話サークル「虹の会」「野和の会」の皆様から手話を教えていただいたり、貴重な経験をすることができました。

4年 滝童内 咲綺

私は、「耳が聞こえない人はこんなにくろうして話をするんだ」と、びっくりしました。手話で話すのはむずかしそうでしたが、耳が不自由な方やボランティアさんは、手話をすらすら使えてすごいと思いました。こんど耳が聞こえない方ともお話をしてみたいです。



4年 長谷川 涼麻

耳の不自由な野辺さんといっしょに手話の練習をしました。他のボランティアさん達も教えてくれました。手話は手で言葉を表せるすごいものでした。野辺さんの話を聞いて、耳の不自由な方は何かを話していても、気付かないということを知りました。手話で話したりふれあったり、耳の不自由な人とも友達になりたいです。

手話 体験

4年 大高 華那

アイマスク体験では、友達が助けてくれたけれど、何も見えないので歩くのが大変でした。目の不自由な方が、一人で歩くのはとても大変のだと思いました。これまで目が不自由な人のことをあまり気にしていなかったけれど、これからは目が不自由な方がいたら助けてあげたいと思いました。



4年 守 颯太

アイマスク体験をして、目の不自由な方は歩いているときとてもこわいのだろうなと思いました。理由は、ぼくがふだん歩いているところでも、アイマスクをして歩いてみたら、かべにぶつかるなどしたからです。目の不自由な方は車が通るところを歩くと、きけんがいっぱいだと思います。

目の不自由な人がいたら、道あんないをしたいです。



アイマスク 体験

4年 青木 琥太郎

高齢者疑似体験をして、高齢者の生活はとても大変だということが分かりました。体は全体的に重たくて、音はほぼ聞こえず、視界はほとんどふさがっていました。おはしで豆をつまむのも、いつも以上にむずかかったです。高齢者の方がこまっていることがあったら助けたいと思いました。



4年 小林 有里菜

高齢者疑似体験をしてみたら、体が思うように動かなくてびっくりしました。私にとってはあつかいやすいものでも、高齢者にとってはあつかいにくい場合があると分かりました。このことから、もっと高齢者の方が住みやすい工夫がふえるといいなと思いました。

高齢者疑似 体験

車椅子 体験

4年 野澤 璃子

わたしは車いす体験をして、車いすはかいだんやあぶない道ではどうするのだろうと思いました。私たちは立ったり歩いたりしていますが、車いすではそれがうまくできないのに生活できるのはすごいと思いました。町のなかに、車いすの人が通れるスロープやエレベーターがもっとできればいいなと思いました。



4年 守矢 開翔

ぼくは、車いすではかいだんなどのあぶない道を、どうやって上り下りしているのかきもんに思っていました。車いす体験をする中で、介助者がティッピングレバーをふむことでだんさを上げることが分かりました。足が不自由な人はこまっていると思うので、足が不自由な人を助ける仕事をやってみようと思いました。

野木 小学校

野木小学校では、4年生の総合的な学習の時間に『福祉』について学習しています。ハンディキャップ体験、手話や点字、朗読サークルの方々とのおふれあいなど、貴重な体験を通じて、「ひとにやさしい」とはどのようなことなのか、自分にできることはなにか、考えを深めることができました。

また、10月20日(土)の野木小っ子祭りでは、地域の方に教えていただきながら体験活動を行いました。9つの体験活動の中から、自分でやってみたい物作り体験を選び、楽しく活動しました。

手話体験

- ・手話を覚えて、耳が不自由な人がいたら手話で会話をしたり、手伝ったりしたいです。(亀田 優芽)
- ・「目は良いことに使ってね。」という言葉が印象的でした。今、見えていることに感謝しながら生活していきたいです。(佐藤 芽咲)
- ・手話は難しいけれど大切な言葉のひとつなので、耳が聞こえない人のためにも覚えたいと思いました。(小澤 柊斗)
- ・補聴器があれば聞こえる人と、機械があっても聞こえない人がいるという話を聞いて、一人一人ちがうとわかりました。(矢田 鼓太郎)



点字体験

- ・点字は、読むのも難しかったけれど、打つのも力が必要なので大変でした。先生たちはとても速く点字を打っていて、すごいと思いました。(松本 優希)
- ・無言でうなずくのではなく、「はい」や「いいえ」と声に出して返事をするのも大切だと知りました。(岩波 歩暖)
- ・点字は左から読むことや、数字を入れるときの決まりがわかりました。(山下 奏夢)



朗読体験

- ・腹式呼吸を意識しました。お腹から声を出すようにすれば、伝わりやすいとわかりました。(神山 優月)
- ・鼻からゆっくり息を吸い、口で息を吐くことが大切だと学びました。(渡邊 統真)
- ・はっきり・大きく・速度に気を付けることが大切だと学びました。でも、何よりも、相手に伝えようとする気持ちが大切だとわかりました。(海老沼 安咲)



ハンディキャップ体験

- ・高齢者は、いつもこんなに体が重いのかとおどろきました。自分もいつか年をとるので、今のうちから勉強したいです。(石川 琴花)
- ・高齢者も、目が不自由な人も、階段の上り下りが大変だとわかりました。手助けをしたいと思いました。(福島 悠生)
- ・おじいちゃん、おばあちゃんの大変さがわかりました。(野口 蒼偉)
- ・目が見えないのは、真っ暗でとてもこわかったです。案内をしてもらって、安心できました。(渡邊 詩音)
- ・アイマスク体験をして、一人だと不安や怖さがあるけれど、友達がとなりにいると安心するとわかりました。(栗田 綾乃)
- ・目が見えない人にとっては、階段のはじについているゴムが大切なのだと気が付きました。(殿岡 漱介)
- ・車いすの折りたたみ方や、押し方がわかりました。また、実際に乗ってみると、坂が怖いことがわかりました。(遠野 伶和)
- ・簡単に操作しているように見えていたけれど、自分で乗ってみると手が疲れました。(福島 葵)
- ・目の不自由な人や、体の不自由な人を見かけたら声を掛けたいです。(岩崎 優月)



野木小っ子祭り

地域の方の話を真剣に聞き、一生懸命物作りをしました。



佐川野小学校では、地域の方々やボランティアの方々に協力していただきながら、福祉の学習をしています。今年度は4～6年生が「認知症サポーター養成講座」を受け、認知症についての知識を深めることができました。また、4年生は総合的な学習の時間に「高齢者疑似体験」「アイマスク体験」「車椅子体験」をしました。各体験をした児童の感想を紹介します。

10月20日(土)の佐川野っ子祭りでは、地域の高齢者の方を講師としてお招きし、「絵手紙」「竹とんぼ」「テープ細工」「折り紙」「お手玉」「缶ぼっくり」の中から自分がやってみたい物作り体験を選び、楽しく活動しました。その中から3つの体験活動の感想を紹介します。

認知症サポーター養成講座

5年 ^{まえざわ れな} 前澤 玲那

わたしは認知しょうサポーター養成講座をうけて、お年寄りの方々に接する時は、びっくりさせないようにしたり、おこったり、いやな気持ちにさせないことが大切だと思いました。

もし、どこかで困っているお年寄りの方々がいたら、やさしくていねいに、親切にしてあげたいと考えています。



6年 ^{おいぬま たいせい} 老沼 大成

ぼくは、認知症についての話を聞いて、お年寄りの方を、びっくりさせない、急がせない、心を傷つけないことが大切だと学びました。もしも、おじいちゃんやおばあちゃんがお店のレジなどで困っていたら、せかさず、親切に対応したいと思いました。

総合的な学習の時間

車いす体験

4年 ^{おかへ ゆうすけ} 岡部 優佑

車いす体験をして、足が不自由だと車いすに乗ったり降りたりするのも苦労するんだなと思いました。車いすをおすときは、坂の上り下りや曲がるのが難しかったです。体が不自由な人だけでなく、支える人も大変だと分かりました。



アイマスク体験

4年 ^{こいずみ あや} 小泉 彩

わたしは、アイマスクをして歩いてみて、柱にぶつかりそうになったり、だんさにつまずいたりしてこわかったです。白いつえで周りをよくさぐってみました。だんさは分かったけれど、周りの景色が見えないので、なんだかさみしい気持ちになりました。目の見えない人の大変さやこわさに気付くことができました。



高れい者ぎ似体験

4年 ^{まえざわ ゆづき} 前澤 優月

高れい者ぎ似体験をしてみて、年をとったら、足を曲げたり、階だんを上ったり下りたり、おはしを使ったりするのが大変なんだと初めて知りました。周りの人たちの助けが大切なんだなと分かりました。お年寄りが大変そうにしていたら、助けてあげたいと思いました。



佐川野っ子祭り

絵手紙作り

1年 ^{かたの ようた} かたの ようた

ぼくは、はじめてのさがわのっ子まつりでえ手がみづくりをしました。ちいきの人やおうちの人がやさしくおしえてくれたので、じょうずにえをかくことができました。とてもうれしかったです。



竹とんぼ作り

2年 ^{わたなべ} 渡邊 きらり

竹とんぼ作りは、むずかしいところもあったけれど、ちいきの人がたすけてくれたので、じょうずに作ることができました。作った竹とんぼをとばしたら、たかくとんで、とてもうれしかったです。

テープ細工作り

3年 ^{かきぬま ほのか} 柿沼 穂乃花

わたしは、テープ細工作りでテープを交ごにあんでいくのが一番むずかしかったです。でも、地いきの人が分かりやすく教えてくれたのでじょうずに作ることができました。とてもうれしかったです。



南赤塚小学校では、4年生が総合的な学習の時間に福祉についての学習を行っており、点字体験、車いす体験、アイマスク体験などを行っています。人権週間には人権集会を行い、日頃から行っているいじめをなくすための行動目標とその成果を学年ごとに発表しました。また、名刺交換ゲームを行いさらにお互いのことを知ることができました。その他にも人権標語を考えたり、人権に関するDVD鑑賞を行いました。夏休みには毎年たくさんの児童が「小学生チャレンジスクール」に参加しています。

総合的な学習の時間

4年 田口 陽斗

手話体験では、指を細かく動かすのがむずかしかったけれど、耳の不自由な人とかんとんに話すことができました。これから、体の不自由な人といっしょにはたらくる社会にしていきたいです。



4年 鈴木 優莉子

車いす体験を通して、車いすは大変なことが多いということが分かりました。これからは、車いすの人も住みやすいような街にできるように自分にできることを進んで行いたいです。

4年 山本 凌麻

手話体験をして、耳の不自由な人は手話を使っていることが分かりました。これからは、耳の不自由な人と手話で会話できるように、手話について勉強していきたいです。



4年 飯島 崇太

車いす体験を通して、足の不自由な人の気持ちが分かりました。これからは、足の不自由な人のために、自分にできることを調べていきたいです。

4年 横山 心花

点字体験で目の不自由な方の話を聞き、かい助をするときには左側に立つとよいということが分かりました。これからは、みんなでやさしく助け合えるような街にしたいです。



4年 青柳 愛美

車いす体験を通して、車いすは思っていたよりも力が必要だということが分かりました。これからは、困っている人がいたらお互いに助け合いたいです。



4年 表 怜那

点字体験を通して、目の不自由な人は点字の種類を全部覚えて読んでいることを知っておどろきました。これからは、目の不自由な人のために街のみんなが声をかけるなど工夫できるといいなと思いました。

4年 池田 瑠香

白杖・アイマスク体験を通して、目の見えない人が道を歩くときの気持ちを感じることができました。これからは、困っている人がいたら進んで助けていきたいです。

4年 小池 天馬

白杖・アイマスク体験を通して、アイマスクを着けて歩くことで目の不自由な人の気持ちを感じることができました。これからは困っている人に進んで声をかけて誰でも安心できる街にしたいです。

人権集会

4年 伊野 来瞳

集会での名刺交換ゲームではいろいろな人に名刺をもらい、うれしい気持ちになりました。また、DVDを見て、いじめをなくすためには勇気が大切だと思いました。

3年 小西 優杏

私は人権集会のみんなのめあてを聞いて、「だれにでも優しく、困っている子がいたら助けてあげよう」と決意しました。



小学生チャレンジスクール

6年 小野 晴香

私は手話は難しいものだと思っていましたが、覚えると意外と簡単で、家でも何回も練習しました。体験を通して、耳が不自由な人は手話で通じていることが分かりました。



4年 青木 優心

体験を通して、高齢者の方、足や目の不自由な方の感じが分かりました。体験でわたしは怖いなと思ったので、助けてあげたいと思いました。



5年 松元 梨乃

ハンディキャップ体験では、アイマスクをつけて階段を降りるのが怖かったので、目の不自由な人は大変だなと思いました。車いすバスケットは、難しかったけれど楽しかったです。



新橋 小学校

新橋小学校では、地域の学校支援ボランティアの方々の協力を得て、体験学習を充実させています。4年生の総合的な学習の時間では、福祉について学習し、「だれにとって住みやすい町」について考えています。クラブ活動では、専門的な知識のある方々に教えていただくことで、できた喜びを味わっていただいています。3年社会科「昔の暮らし」、1年生活科「昔のあそび」では、地域の老人クラブとの交流も続いています。地域の皆様にお話を聞いたり、ふれ合ったりしながら、たくさんのことを学ぶことができました。

☆町小中合同クリーン活動☆

(5年生児童の感想)

○掃除することで町がきれいになり、とても気持ち良かったです。また、中学生とふれあいながら掃除することも貴重な経験になりました。

○中学生が僕たちに優しく声を掛けてくれました。来年は、自分達が中学生のように下学年に声を掛け、手本となるように行動していきたいです。



自分たちが生活している地域に住む野木二中生と一緒にクリーン活動を行いました。お互いに交流を図りながら、社会奉仕の精神を養うことができました。また、保護者や地域の方にもご協力いただき、地域との連携も図れました。

(1年生児童の感想)

○クリーン活動で、こうえんといえのまわりのどうろをそうじしました。ゴミとーしょに、おちばをふくろいっばいになるまでひろいました。きれいになったら、きもちよくなりました。また、みんなでそうじをしたいと思います。

○どこからひろったらいいのかわからないくらい葉っぱがおちていましたが、ちいきの人とみんなで力をあわせてひろったのできれいになりました。中学生がやさしくやりかたをおしえてくれたり、こえをかけてくれたりしたのでうれしかったです。

☆生活科『昔のあそび』☆

現2年生が1年生の時に、丸林西富士見会、卯ノ木クラブ、新橋ローズクラブのみなさんから、生活科の学習で「昔のあそび」を教えてくださいました。



竹馬・めんこ・羽根つき・竹とんぼ・こま回し・あやとり・お手玉・けん玉・おはじきを教えてくださいました。

○おはじきのぶつけ方をやさしく教えてくださりありがとうございました。おかげで上手にできるようになりました。楽しかったです。

○こま回しの教え方が上手だったです。1回目では回らなかったけど、こつがつかめて2回目では回せました。うれしかったです。

☆社会科『昔の暮らし』☆

新橋小学校近辺にお住まいの方々に、野木町の昔の町の様子や、昔の暮らしの様子を教えてくださいました。実際に話を聞いたり、実物を見たりしたことで、今と昔のくらしや道具の違いがよく分かりました。



昔の道具について教えてくださいました。



昔の生活の様子について教えてくださいました。

☆総合『心のバリアフリー』☆

(4年生児童の感想)

○普段の会話も、当たり前ではないと気づきました。目や耳の不自由な人も安心して過ごせるように、ぼくにもできることを考えたいです。

○手話を体験して、難しくて覚えるのが大変だなと思いました。でも、たくさん覚えて耳の不自由な人と話をしたいです。

○点字体験では、点字器の使い方を教えてもらい自分の名刺を作ることができました。点字を読むことの大変さがわかりました。



☆クラブ活動☆

ゲートボール、アート、ボードゲームの3つのクラブでは、地域にお住まいの専門的な知識をお持ちで教えに来ていただける方に、お願いして指導をしていただいています。新しい技術の習得や向上をすることで、関心が高まり、意欲的に取り組むことができました。



(児童の感想)

○地域のゲートボールボランティアの方々に毎時間教えてもらっています。そのおかげで大会では、準優勝できました。○絵をうまく描く「こつ」は頭を使うことと教えてもらいました。アドバイスがとてもわかりやすく、上手に描くことができました。うれしかったです。

野木 中学校

野木中学校では福祉委員を中心に毎月古紙・アルミ缶回収を実施しています。潤心祭では和太鼓、ソーラン節を披露しました。また、今年から虹の舎の七夕飾りを手伝わせていただき、高齢者の方と交流しました。

古紙・アルミ缶回収

3年 こばやし かげる 小林 翔

私たち福祉委員は毎月末2日間かけて古紙・アルミ缶回収をしています。「回収率100%を達成する」という目標のもと委員会の呼びかけはもちろん、クラス一丸となって協力しています。

未だに福祉委員が目標にしている「回収率100%」には届いていませんが、年度の最初は、なかなか集まらなかった古紙・アルミ缶回収も皆さんのご協力のおかげで徐々に回収率が上がったことをうれしく思います。

1年間協力してくださった皆さんありがとうございました。

福祉委員会の「福祉」



虹の舎の七夕飾りのお手伝い!

3年 かわぎし しおり 川岸 葉

最初はとても緊張しましたが、私たちが温かく迎えてくださいました。そして、職員の方と一緒に七夕飾りを行いました。完成したときには多くの方が喜んでくださり、とてもうれしかったです。貴重な経験をすることができ、福祉委員会に入ることができてよかったです。

潤心祭の「福祉」

和太鼓講座

3年 ふせぎ さあや 伏木 沙綾

1年生の時、初めて見た和太鼓講座の演奏に心打たれた私は、3年間和太鼓講座で活動してきました。そして、3年生になった私はずっと憧れていた「八丈」を担当することになり、最高の演奏にしようと練習に励みました。さらに私たちの曲だけではなく、1年生の曲には2年生が、2年生の曲には3年生が太鼓のリズム・振付を教え、多くの「助け合い」が講座内で見られました。当日は最高の演奏を送ることができました。また、3年生による虹の舎、教育祭での発表、初めての試みであった「三宅」の演奏は見に来ていただいた方に笑顔と感動を届けることができました。



ダンス講座

3年 かとう つばさ 加藤 翼沙

私はダンス講座長を務め、「友達の大切さ」を深く理解することができました。その理由は、私は講座長でしたが、教えることが苦手で困っていた時に3年生の友達が助けてくれたからです。

友達の協力があつたため、ダンス講座を全員で作りに上げることができました



野木第二 中学校

野木第二中学校では、6月の「ひまわり荘訪問」で、お年寄りの皆さんと七夕の飾りつけを楽しむことができました。また、8月の「One dayボランティアスクール」では、宇都宮市にある「宇都宮短期大学」において学校見学、さらに「サン・アビリティーズ」にて車いすバスケットボール体験を行いました。10月には「輝光祭」において、ひまわり荘の方々を招待して、楽しい時間を過ごすことができました。このことは貴重な体験となり、今後の生活に生かしていきたいと思えます。

3年 ^{まつもと こうた} 松本 幸大

今回の七夕飾りつけで、初めてひまわり荘に行きました。職員の方や入居者の方が明るく、楽しそうなおところでした。入居者の方から声をかけてくれたり、飾りつけを手伝ってくれたりしたので、とても楽しく有意義な時間を過ごすことができました。最後に竹を立てかけた時、たくさんの方が笑顔で「ありがとう」と言ってくれたので達成感がありました。

ひまわり荘に行く機会はなかなかありませんが、また行ってみたいと思える訪問となりました。

ひまわり荘訪問



3年 ^{たなか ひなこ} 田中 仁奈子

私は今回、ひまわり荘の七夕飾りつけに行き、大切だと思ったことは自分からコミュニケーションをとることです。話しかける時は、笑顔が大切だと思いました。なぜなら、ひまわり荘の職員の方々は、入居者さんと笑顔で話していたからです。

七夕の飾りつけは、うまくできるか最初は不安でしたが、たくさん入居者さんが手伝ってくださり、とてもきれいに完成させることができ、よかったです。いい体験ができました。

Oneday ボランティアスクール

2年 ^{つるみ くるみ} 鶴見 来未

私が今回、One day ボランティアスクールに参加して思い出に残ったことは車いすの方の講話が聞けたことと、車いすバスケットボールをやったことです。まず10代の時、事故が原因で車いす生活となってしまった方の講話を聞いて、障がいをもっている方々に手をさしのべたいと強く思いました。そして、車いすバスケットボールではアドバイスをいただきながら、実際のゲームで得点を決めることができました。とても良い体験ができて嬉しかったです。

宇都宮短期大学では、音楽療法について学びました。実際に体験できたので分かりやすかったです。大学の施設見学もできて、大変勉強になりました。

今回、One day ボランティアスクールに参加して福祉についてよく知ることができました。今よりもっと福祉委員会やボランティア活動を積極的に行いたいと思えます。



輝光祭☆高齢者疑似体験

3年 ^{たじま かなみ} 田島 可奈美

高齢者疑似体験では、錘やゴーグル、ヘッドホンなどをつけて階段や廊下を歩きました。想像以上に足腰がつかなく、視野も狭くなるので、歩き慣れた道なのに不安を感じました。

高齢者があまり私の周りにはいなかったのがこれまでにはわかりませんでしたが、私には何でもないようなことも高齢者には負担になることに気づきました。だから、困っているお年寄りを見かけたら、迷わず手を差し伸べるようにしたいと思います。



輝光祭☆ひまわり荘接待

1年 ^{まさぶち りこ} 増淵 理子

輝光祭当日、私はとてもドキドキしていました。なぜなら、それはひまわり荘のお年寄りとお会いできることが楽しみであったと同時に楽しくお話できるか不安でもあったからです。家族にどのような話をしたらよいか聞いて参考にしました。そして、むかえた当日。最初に、話しかけるのはとても緊張しましたが、話しているうちに自然体で話せるようになり時間はあっという間に過ぎてしまいました。今回の経験から、時間を見つけてボランティア活動に参加していきたいと思えます。



手話サークル「野和の会」

中島 恵子

手話は、手や指の動き、顔の表情などを使う「目で見る言語」です。ろう者が、日常使っている言葉です。また、日本語とは、異なった独自の語彙や文法体系を持っています。

耳が聞こえなくて音声語によるコミュニケーションができない人たちは、毎日生活を送る上で、どんなことに悩み、困っているのでしょうか。また、どんな工夫をしているのでしょうか。

サークルでは、聴者とろう者が交流を深めながら、ろう者の生活のこと、ろう文化を知り、一緒に手話の学習をしています。手話で話してみると、今まで経験したことのない嬉しく楽しい気持ちになります。

また、サークル活動として「各小学校の手話体験学習」の支援、社会福祉協議会の「ボランティアサマースクール」「小学生チャレンジスクール」等に参加協力しています。みんなが、手話を使ってコミュニケーションができる、そんな社会の実現の一助になればと思います。まずは、相手の顔を見て、右手の人差し指と中指を立て、人差し指をひたいに当てる「こんにちは」。みなさんもサークル活動にぜひ参加してみませんか。心よりお待ちしております。いつでも見学に来てください。



手話サークル「野和の会」

活動日：毎週月曜日(午前10時～正午)
場 所：ホープ館(町老人福祉センター)
年会費：1,000円

手話サークル「虹の会」

活動日：毎週土曜日(午前10時～正午)
場 所：ホープ館(町老人福祉センター)
年会費：1,000円

点友会「のぎ」

富山 祐子



点友会「のぎ」

活動日：第2・4火曜日(午前10時～正午)
場 所：ホープ館(町老人福祉センター)
年会費：500円

日常生活の中には、視覚障がい者の為に、点字が打たれた場所がたくさんあります。歩道や駅のホームの点字誘導ブロックはもとより、構内の階段の手すり、切符の販売機の呼び出しボタン、銀行のATMの視覚障がい者の為の案内の受話器、郵便局のATMの点字による金額表示器、健常者にとっては、気づきにくいポストや自動販売機にも点字が打たれています。町内の小中学校の点字体験学習では、点字の打ち方だけでなく、視覚障がい者の方の生活や接し方もお話ししています。授業を受けた学生からは、「駅や銀行でも見かけた「点」が点字であり大事なものであると認識しました。」「言葉だけでなく、点字でもコミュニケーションがとれることを学びました。」「視覚障がい者の方に会ったら、しっかり安全にサポートしてあげたい。」「授業の内容で家族の会話が弾みました。」・・・など、感想の声が返ってきます。

点字を通して「思いやりの気持ち」が伝わる事を願っています。

朗読の会「のぎく」

小林 和子

朗読の会「のぎく」の主な活動は、毎月町から発行される「広報のぎ」や「お知らせ版」などを視覚障がい者(目の不自由な方)へ音訳し、CDに録音してお届けしています。

町の公共の施設、ホープ館、図書館、役場など、どなたでも自由に使っていただけるよう置き場を設けています。

また、「虹の舎」や「さくらデイサービス」を訪問し、絵本や紙芝居などで愉しんで頂いています。

情報は聞いていただく方に正確にわかり易くということがとても大切です。そのため月1回の勉強会を実施していますが、その集大成という意味もあり、図書館で年1回朗読会を行い、皆様に聞いて頂いています。

社会福祉協議会の「福祉のつどい」「ボランティアサマースクール」「小学生チャレンジスクール」などの行事に参加協力しています。朗読、音訳ボランティアに関心がある方は、社会福祉協議会が開催する「朗読講座」に参加してみませんか。



朗読の会「のぎく」

活動日：第1・2・3水曜日、第4金曜日
(午後1時30分～午後4時)
(第1水曜日は午前9時30分～)
場 所：ホープ館(町老人福祉センター)、
図書館 他
年会費：500円

夏の思い出2018

小学生チャレンジスクール 7/23~7/27

7/24~7/27

ボランティアサマースクール

聴導犬についてのお話し



ハンディキャップ体験



虹の舎施設体験



宇都宮市
環境学習センター



車いすバスケット
ボール体験



福祉講座



ヤクルトさんの
おなか元気講座



卓球バレー



竹細工講座



流しそうめんとBBQ



ボランティアの皆様、ご協力ありがとうございました!



Onedayボランティアスクール 8/2

福祉学習・音楽療法体験

宇都宮短期大学



施設見学



車いすバスケットボール

